

一般社団法人 日本医療薬学会第 89 回医療薬学公開シンポジウム 開催報告書

第 89 回医療薬学公開シンポジウム

実行委員長 平泉 達哉

(能代厚生医療センター 薬剤科 薬剤長)

令和 5 年 11 月 18 日 (土) に秋田拠点センターALVE 多目的ホール (秋田市) にて、第 89 回医療薬学公開シンポジウム (主催: 日本医療薬学会、共催: 一般社団法人 秋田県病院薬剤師会) を開催しました。本公開シンポジウムでは「チーム医療における今後の薬剤師業務展開の可能性を探る」をテーマとして、特別講演並びに各専門分野で積極的な活動を実施してる先生方からご発表いただきました。参加者は 64 名で、病院薬剤師が 60 名、保険薬剤師等が 4 名でした。全て東北 6 県からの参加でしたが、開催地の秋田県以外からも多くの参加がありました。

特別講演では、東北大学病院 薬剤部 准教授 小原 拓 先生より「多職種連携・薬業連携・地域連携を考慮した薬剤師業務展開の可能性」と題し、地域医療構想における薬剤師の役割や連携を考慮した薬剤業務の展開について、周産期領域の現状を交えながら解説していただきました。シンポジウムでは、由利組合総合病院 薬剤科 副薬剤長 遠藤 征裕 先生と秋田県立循環器・脳脊髄センター 薬剤部 部長 八代 佳子 先生の座長により、周術期、救急医療、褥瘡対策、心不全、腎臓病薬物療法で活躍されているシンポジストの先生にご登壇いただきました。鶴岡市立荘内病院 診療部薬局 渡部 秀 先生から「周術期における薬学的管理 ～当院の現状と展望～」と題して、秋田県立循環器・脳脊髄センター 薬剤部 木元 健寛 先生から「急性期脳卒中における救急での薬剤師のかかわり」と題して、東北大学病院 薬剤部 武藤 理恵 先生から「褥瘡対策における薬剤師の関わり」と題して、仙台循環器病センター 薬剤部 部長 千葉 貴志 先生から「心不全における連携の重要性」と題して、秋田大学医学部附属病院 腎疾患先端医療センター 藤山 信弘 先生から「腎臓病薬物療法を通して進める地域医療への貢献と取り組み」と題して発表していただき、その後に総合討論を行いました。現在、これら取り組みの実施を検討している施設や実施できていない施設からの質問も多くみられ、関心の高さが伺えました。総合討論の時間が若干少なくなりましたが、参加された先生方は、薬剤師業務展開の可能性を探ることができたのではないかと考えます。

最後に、今回のシンポジウムの開催にあたりご講演を賜りました演者の先生方、座長の労をお取りいただきました先生方、当日運営にご協力いただきました由利組合総合病院並びに能代厚生医療センターの先生方、そして企画や運営に対し終始懇切丁寧にご対応いただきました日本医療薬学会事務局の方々に心よりお礼申し上げます。